

岐阜県内建設発生土処理対策委員会(概要)

(転流工工事に向け、対策の基本方針や具体的な手法等を確認することを目的に平成29年2月24日に開催)

新丸山ダム工事事務所で実施している「新丸山ダム建設事業」における転流工工事に向け、対策の基本方針や具体的な手法等を確認することを目的に、岐阜県内建設発生土処理対策委員会を平成29年2月24日に開催しました。

○委員会名簿(※五十音順)

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学 工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授
岐阜大学 工学部	篠田 成郎 教授
一般財団法人 自然学総合研究所	寺尾 宏 主任研究員
岐阜医療科学大学	永瀬 久光 教授

<転流工の事前調査結果について>

- 自然由来重金属 8 項目を対象とした溶出量試験、含有量試験、酸性化可能性試験の事前調査結果を報告しました。

<対策方針(案)について>

- セメント原料化、遮水シートによる封じ込め、不溶化处理等の対策を検討していることを報告しました。
- 建設発生土受入地で仮置きヤードの整備内容や水質モニタリング調査位置の概要について確認しました。
- 沈砂池での水質モニタリング項目は重金属、pH とし、目視による酸化鉄色状況を把握する方針としました。

詳細は、計画立案を完成させたくうえで、次の委員会において現場視察とともに協議予定としました。



岐阜県内建設発生土処理対策委員会(概要)

(転流工工事で発生する建設発生土の対策手法の詳細を確認することを目的に平成29年6月5日に開催)

新丸山ダム工事事務所で実施している「新丸山ダム建設事業」における転流工工事で発生する建設発生土の対策手法を確認することを目的に、岐阜県内建設発生土処理対策委員会を平成29年6月5日に開催しました。



○委員会名簿(※五十音順)

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学 工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授
岐阜大学 工学部	篠田 成郎 教授
一般財団法人 自然学総合研究所	寺尾 宏 主任研究員
岐阜医療科学大学	永瀬 久光 教授

○委員会決定事項

<掘削土の評価について>

- 事前調査では、自然由来重金属等 8 項目を対象とした溶出量試験、含有量試験、酸性化可能性試験を行い判定すること、必要に応じて迅速法試験も行うことにしました。

<水質モニタリングについて>

- 転流工に対する水質モニタリング箇所、試験項目、基準値及び試験頻度を確認しました。

<要対策土の封じ込め方法について>

- 封じ込め盛土を段階的に実施していく考え方を確認しました。
- 新丸山ダム建設工事が長期にわたることから、施工段階ごとに仮設的な覆土を行い、雨ざらし状態とならない方法としました。
- 浸透水は、沈殿槽を設けてモニタリングをする方針としました。
- 判定施設と要対策土処理場の下流に位置する川を暗渠で養生する方針としました。

○現場視察内容

<建設発生土受入地>

- 判定施設、判定施設と要対策土処理場の下流に位置する川の暗渠化している箇所を視察しました。